

# 第59回 科学技術週間


科学技術週間は科学技術の大切さを一人でも多くの人びとに理解していただくこと、日本の科学技術を更に発展させること等を目的に制定され、「発明の日」(4月18日)を含む月曜日から日曜日までの1週間と定められています。


平成30年4月16日(月)～22日(日)





黄色の枠の中の言葉を並べると第59回科学技術週間で配布する一家に1枚ポスターのテーマが浮かび上がります。これまでの一家に1枚ポスターを手がかりに答えを探そう！


**Q1**  原子番号33。ヒジキやカキなどの海産物に微量に含まれる元素。  
手がかり: 元素周期表

**Q2**  受精卵が分裂して細胞の数が増えるときに様々な形や働きをもった細胞が生まれる。この過程のこと。  
手がかり: 生きものすべては細胞から

**Q3**  1766年、金属と強酸の反応で、燃える気体「水素」が発生することを発見。イギリスの化学者です。  
手がかり: 水素

**Q4**  加熱すると、氷(固体)は水(液体)、さらに水蒸気(気体)に変化する。水蒸気をさらに加熱すると、水分子はバラバラの原子になって、さらに原子がイオンと電子に分かれる。この現象のこと。  
手がかり: 未来をつくるプラズマ

**Q5**  太陽系内で起きる最大の爆発現象で短い時間(数分から数時間)の間にばく大なエネルギーが解放されること。  
手がかり: 太陽

**Q6**  私たちが飲む薬のほとんどは、目に見えないくらい小さな○○○  
○○でできている。  
手がかり: くすりの形

**Q7**  銅線などをコイルにして電流を流すと○○○○○○○になる。  
手がかり: 磁場と超伝導

